

1-2 そだてる景観

○市民との協働・支援

❖親子景観セミナー❖

親子景観セミナーとは、将来の鎌倉のまちづくり・景観づくりの担い手である子どもたちとその親を対象にし、鎌倉に多く存在するまち並み・景観形成に重要な建築物などを通して、鎌倉の魅力を知ってもらうイベントです。

◆子ども茅葺き体験 (H21)

茅葺き修理に携わっている職人の皆様から直接指導を受けて、茅葺き体験や藁を使った縄作り体験を行いました。また、茅葺き屋根に関する絵本の読み聞かせも行いました。



茅葺き体験 (成瀬家住宅)

◆長谷タウンウォーキング (H22)

鎌倉の景観スポットなどをスタンプラリーに取り入れながら、まち歩きを行いました。極楽洞から鎌倉文学館までルートを巡りました。



極楽洞見学

❖景観づくり賞❖

景観づくり賞は、都市景観の形成に貢献したと認められる者及び団体を表彰する制度です。これを広く紹介することによって、景観づくりへの意識を高め、景観づくりに関わる市民相互の連携を深めることを目的としています。

市民の参画と協力を推進するための制度として、景観形成推進委員の制度があり、景観づくり賞の選考等に携わっています。

◆第3回景観づくり賞 (H20)

「鎌倉のまち並みをつくる素敵なかんばん」をテーマとし、鎌倉の自然やまち並みに調和した看板や、通りの賑わい・佇まいを演出している優れた看板を選びました。



菊一伊助商店

◆第4回景観づくり賞 (H21~H22)

「美しいまち並みをつくる樹木」をテーマとして、自然やまち並みに調和した樹木や周りの景観を魅力的にしている樹木など、景観づくりに貢献している樹木を選びました。



長谷のエノキ

○企業の協力

❖屋外広告物❖

良好な都市景観の形成を推進するために重要な要素である屋外広告物について企業と協議をし、景観形成に努めています。

色の反転や彩度を抑えるなど色やデザインについて独自の工夫が行われています。

○三菱東京UFJ銀行



基調色の反転

○タイムズ



地色を黄色から白色に変更。広告塔のデザインを縮小。

❖自動販売機❖

業界団体の協力を得て、市民や観光客等の人通りが多い場所等において、色彩や配置方法等について独自の工夫が行われています。



推奨カラーの自動販売機
(推奨カラー：5Y7.5 / 1.5)

❖違反屋外広告物除却協力員の活動❖

違反屋外広告物除却協力員制度は、違反屋外広告物を除却する権限を市民に委嘱し、市民のみで除却活動ができる制度です。

違反屋外広告物の除却件数は年々減少しており、活動の成果が表れています。



協力員による除却の様子

1-3 まもる景観

❖景観重要建築物等・景観重要建造物❖

明治から昭和にかけて建てられた洋風建築物が多く残されており、平成2年に「鎌倉市洋風建築物の保存のための要綱」を定めました。平成8年には、「鎌倉市都市景観条例」を施行し、これまでの洋風建築物に加え、和風建築物や門、塀などの工作物を「景観重要建築物等」として指定し、保存と活用を図る制度を設けました。平成22年には、景観法に基づき、「景観重要建造物」の指定を行いました。



成瀬家住宅 (指定第32号)



極楽洞 (指定第33号)



野尻邸 (旧大佛次郎茶亭)
(指定第30号)



旧川喜多邸別邸 (旧和辻邸)
(景観重要建造物：指定第1号)

1-4 つくる景観

❖景観重要公共施設のデザイン調整❖

都市の骨格を形成し、景観形成上特に重要な公共施設を景観重要公共施設【海浜ベルト・若宮大路ベルト・北鎌倉ベルト・柏尾川ベルト】に指定し、その整備と占用許可等の基準を定め、デザイン調整を行っています。



大船駅西口歩行者デッキ及び大船駅西口交通広場 (H19~H23)



❖公共施設・公共サインのデザイン調整❖

公共施設・公共サインにおいて、工作物や掲示板の色彩等のデザイン調整や既存の掲示板を活用し、共同で表示するなどの調整を行っています。



路上喫煙禁止区域の掲示板 (H21)

❖歴史的建造物の保全・活用❖

○旧華頂宮邸 (指定第29号)

旧華頂宮邸は、昭和4年に華頂博信侯爵邸として建てられたものです。平成8年、鎌倉市が取得し、保全・活用が行われています。

庭園公開や建物公開の他、周辺の宅間ヶ谷を散策する「親子景観セミナー」や「旧華頂宮邸の魅力を学ぶ」といった講座等を実施しています。



旧華頂宮邸



「旧華頂宮邸の魅力を学ぶ」(H23)

○鎌倉文学館 (指定第1号)

加賀百万石藩主で知られた旧前田家別邸で、昭和58年に市に寄贈されました。

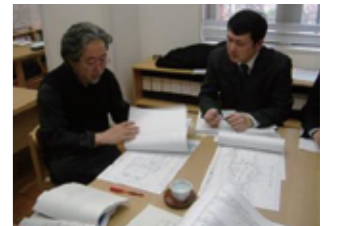
昭和60年から文学館として活用され、鎌倉に関係のある様々な文学者の作品や資料を展示・紹介しています。



鎌倉文学館

❖景観アドバイザーによるデザイン調整❖

主要な公共施設の建築に際しては、都市景観形成に先導的な役割を果たすよう、施設の設計段階から景観アドバイザーによるデザイン調整を行っています。



調整の様子



川喜多映画記念館
(H19~H23)



鎌倉市立第二中学校
(H19~H23)

◆景観アドバイザー

都市景観の形成に優れた識見を有する方を鎌倉市の景観アドバイザーに委嘱し、公共施設計画など景観形成上重要な事項について専門的なアドバイスを得ています。